

科目名	古代文学講読 I	
担当者	山崎 桂子 / YAMASAKI, Keiko	
科目情報	人間文化<日本語日本文学> / 選択 / 前期 / 演習 / 2単位 / 2年次	
科目概要	授業内容	『伊勢物語』を演習形式で読む。簡潔な文章と和歌から成る原文を丁寧に読み解くことにより、人間の愛情の種々相をいかに描いているか、作品の魅力はどこにあるかを探る。
	到達目標	1) 原文を声に出して正しく読める。 2) 古語辞書を用いて古語の意味を調べ、現代語訳ができる。 3) 参考文献を用いて各段の内容を理解し、説明できる。
授業計画	(1) 概説 (時代背景・歌物語・成立・作者・在原業平) (2) 〃 (書名・伝本・内容と構成)、担当段と日程の調整 (3) 初段 初冠 (演習モデル)、参考文献紹介 (4) 第5段 関守 (以下、受講者が一段ずつ担当し発表、質疑応答) (5) 第6段 芥川 (6) 第9段 東下り (7) 〃 (補遺) (8) 第23段 筒井筒 (9) 〃 (補遺) (10) 第24段 梓弓 (11) 第63段 つくも髪 (12) 第69段 狩の使 (13) 〃 (補遺) (14) 第84段 長岡の母 (15) 総まとめ	
自学自習	事前学習	・原文を前もって読んでおくこと。 ・意味のわからない言葉・部分をチェックしておくこと。
	事後学習	・演習資料の現代語訳を用いて、内容を確認すること。 ・疑問点があれば、次回質問できるようにしておくこと。
使用教材・参考文献	【教】松尾聡・永井和子校注『伊勢物語』笠間書院 1999年 【参】新編日本古典文学全集『伊勢物語他』小学館 1994年 【参】新潮日本古典集成『伊勢物語』新潮社 1976年	
成績評価方法と基準	<基準> 演習資料の作成、発表、質疑応答が出来、その成果をレポートとして提出すれば合格とする。 <方法> レポート (50%)、演習 (40%)、授業参加度 (10%)	
備考	毎回、古語辞書を持ってくること。	